

## 鳴崎裕志教授業績目録

(1998年4月1日教授として着任。2007年3月31日定年退職)

### ① 著書 (4編)

- 1) 「第1章人と現代生活第2節人間性の理解」, 「第2章認知の心理」(『社会生活の心理学』, 福村出版株式会社, 1989年5月) [共著]
- 2) 「第2章人間にとってのからだ」(『人のこころ 人のからだ』, ミネルヴァ書房, 1996年4月) [共著]
- 3) 「第11章変換視に関する生理学的研究, 3. わが国での近年の研究状況」(『知覚の可塑性と行動適応』, プレーン出版, 1998年10月) [共著]
- 4) 「実験計画法」, 「知覚心理学」(『カウンセリング辞典』, ミネルヴァ書房, 2001年12月) [共著]

### ② 論文 (26編)

- 1) 「影響図形による, テスト図形の閾値の下降について」(『心理学研究』42号, 1971年6月, 67-78頁) [単著]
- 2) “Effects of aspartate and glutamate on the bipolar cells in the carp retina”, *Vision Research*, Vol. 15, PP456-458頁, 1975年3月, [共著]
- 3) “Effects of external ions on the synaptic transmission from photoreceptors to horizontal cells in the carp retina”, *Journal of Physiology*, Vol. 252, 1975年6月, PP509-522, [共著]
- 4) “Synaptic transmission from photoreceptors to bipolar and horizontal cells in the carp retina”, *Cold Spring Harbor Symposia on Quantitative Biology*, XL, 1975年8月, PP537-546, [共著]
- 5) “Synaptic transmission from photoreceptors to the second-order neurons in the carp retina”, *Proceedings of Life Sciences: Neural Principles in Vision*, 1976年9月, PP143-157, [共著]
- 6) “Role of Mueller cells and potassium activity in the vertebrate retina with respect to b-wave generation”, *Georgia University*, 全123頁, 1983年3月, [単著] (学位論文)
- 7) “Aspartate-induced dissociation of proximal from distal retinal activity in the mudpuppy”, *Vision Research*, Vol. 24, 1984年6月, PP587-595, [共著]
- 8) “Reaccumulation of  $[K^+]_o$  in the toad retina during maintained illumination”, *Journal of General Physiology*, Vol. 84, 1984年9月, PP475-504, [共著]
- 9) “Light-evoked increases in extracellular K in the plexiform layers of amphibian retina”, *Journal of General Physiology*, Vol. 86, 1985年8月, PP189-213, [共著]
- 10) “Decline of electrogenic Na/K pump activity in rod photoreceptors during

- maintained illumination”, Journal of General Physiology, Vol. 87, 1986年4月, PP633—647, [共著]
- 11) 「技術者の産業界に対する現状認識 [ I ]」(『椋山女学園大学研究論集』20号, 1989年3月, 75—91頁) [共著]
  - 12) 「自動化・機械化の進展に伴う職場の変容—職務内容を中心として」(『椋山女学園大学研究論集』21号, 1990年3月, 177—192頁) [共著]
  - 13) 「機械化・自動化に伴う労働者意識の変容—主として仕事及び人間関係について」(『椋山女学園大学研究論集』22号, 1991年3月, 233—249頁) [共著]
  - 14) 「機械化・自動化の進展と労働者の仕事・職場意識—主として機械・機器の使用・未使用を手掛かりとして—」(『椋山女学園大学研究論集』23号, 1992年2月, 139—151頁) [共著]
  - 15) 「主観的輪郭線による立体視の実験的検討」(『椋山女学園大学研究論集』24号, 1993年2月, 369—381頁) [共著]
  - 16) 「第3次産業における上下の人間関係と仕事の満足感」(『椋山女学園大学研究論集』25号, 1994年3月, 215—244頁) [共著]
  - 17) 「第3次産業における人間関係と仕事の満足度・定着意識」(『椋山女学園大学研究論集』26号, 1995年3月, 55—73頁) [共著]
  - 18) 「色覚異常」(『椋山女学園大学研究論集』27号, 1996年3月, 1—17頁) [共著]
  - 19) 「色覚異常II」(『椋山女学園大学研究論集』28号, 1997年3月, 1—16頁) [共著]
  - 20) 「「ガンツフェルト」事態における児童の言語報告の分析」(『椋山女学園大学研究論集』29号, 1998年3月, 1—19頁) [共著]
  - 21) 「色の記憶—PCCS カラーカードの再認」(『日本色彩学会誌』24号, 2000年9月, 146—155頁) [共著]
  - 22) 「ジェームズ・ギブソンの視知覚論と般化」(『人文科学論集<人間情報学科編>』36号, 信州大学人文学部, 2002年3月, 17—29頁) [単著]
  - 23) 「色彩学における実験計画—心理学の立場から—」(『日本色彩学会誌』26号, 2002年9月, 176—178頁) [単著]
  - 24) 「女子学生における親子関係と摂食障害傾向」(『健康心理学研究』17号, 2004年12月32—41頁) [共著]
  - 25) 「自動運動と眼球活動との関係」(『人文科学論集<人間情報学科編>』39号, 信州大学人文学部, 2005年3月, 1—9頁) [共著]
  - 26) 「仮現運動と眼球活動との関係」(『人文科学論集<人間情報学科編>』40号, 信州大学人文学部, 2006年3月, 1—13頁) [共著]

### ③ 学会発表 (39回)

- 1) 「刺激図形がその周囲に及ぼす影響」(日本心理学会第35回大会発表論文集, 1971年9月) [単独]
- 2) 「形の場に関する生理心理学的研究(1)—鯉の遊離網膜における表面電位について—」(日本心理学会第35回大会発表論文集, 1971年9月) [共同]

- 3) “The formation of contour”, XX th International Congress of Psychology, 1072年 8 月) [単独]
- 4) “Psychophysiological study on the visual field: the variation of surface potentials with the different figures presented on the excised carp’s retina”, XX th International Congress of Psychology, 1972年 8 月) [共同]
- 5) 「探知事態における諸条件」(日本心理学会第36回大会発表論文集, 1972年 8 月) [単独]
- 6) 「形の場に関する生理心理学的研究(2)―遊離網膜上の表面電位の変化について―」(日本心理学会第36回大会発表論文集, 1972年 8 月) [共同]
- 7) 「形の場に関する生理心理学的研究(3)―遊離網膜上における ERG の変化について―」(日本心理学会第37回大会発表論文集, 1973年 9 月) [共同]
- 8) “Relationship of neuronal to K-response in mudpuppy retina”, The 9th Society for Neuroscience (Atlanta), 1979年11月) [共同]
- 9) “Effects of aspartate on field potentials and K<sup>+</sup> in mudpuppy retina”, Association for Research in Vision and Ophthalmology (Orlando), 1980年 4 月) [共同]
- 10) “Aspartate-induced changes in field potential and K-flux in mudppy retina”, Optical Society of America, 1980年 5 月) [共同]
- 11) “Effects of aspartate on retinal resistance and light transmittance”, The 11th Society for Neuroscience (Dallas)), 1981年10月) [共同]
- 12) “Time-dependent action of aspartate on mudpuppy retina”, Association for Research in Vision and Ophthalmology (Sarasota), 1983年 5 月) [共同]
- 13) “Pharmacological modulation of Mueller cells, [K<sup>+</sup>] o, and the b-wave in mudpuppy retina”, Association for Research in Vision and Ophthalmology (Sarasota), (1983年 5 月) [共同]
- 14) “Reaccumulation of retinal [K<sup>+</sup>] o during maintained illumination”, Association for Research in Vision and Ophthalmology (Sarasota), 1984年 5 月) [共同]
- 15) “Differential effects of blocking potassium conductance upon ERG b-wave and slow PIII”, The 14th Society for Neuroscience (Anaheim), 1984年10月) [共同]
- 16) “Effects of cesium upon Mueller cell membrane response, [K<sup>+</sup>] o, and the electroretinogram”, Association for Research in Vision and Ophthalmology (Sarasota), 1985年 5 月) [共同]
- 17) 「色の主観的輪郭について」(東海心理学会第40回大会, 1991年 5 月) [共同]
- 18) 「色の主観的広がり」(日本色彩学会第23回全国大会, 1992年 5 月) [共同]
- 19) 「色の主観的広がりと同化」(日本視覚学会1992年夏期研究会, 1992年 7 月) [共同]
- 20) 「ユーモアが記憶の自動的・意図的処理に及ぼす影響」(日本心理学会第66回大会発表論文集, 2002年 9 月, 749頁) [共同]
- 21) 「ユーモアが記憶の自動的・意図的処理に及ぼす影響(2)」(日本心理学会第67回大会発表論文集, 2003年 9 月, 848頁) [共同]
- 22) 「課題の複雑性が大脳半球間の統合処理に及ぼす影響」(日本心理学会第67回大会発表

- 論文集, 2003年月, 682頁) [共同]
- 23) 「音韻的特性と音韻のプライミング効果」(日本心理学会第68回大会発表論文集, 2004年9月, 452頁) [共同]
- 24) 「自動運動と眼球運動」(日本心理学会第68回大会発表論文集, 2004年9月, 537頁) [共同]
- 25) 「説明文章からの連想率が新情報の学習に与える影響」(日本心理学会第68回大会発表論文集, 2004年9月, 770頁) [共同]
- 26) 「方向づけ課題と課題処理数が顕在記憶に及ぼす効果」(日本心理学会第68回大会発表論文集, 2004年9月, 823頁) [共同]
- 27) 「映像刺激が視聴者の認知・感情・生理反応に及ぼす効果」(日本生理心理学会第23回大会発表要旨, 2005年5月, 第23巻第2号143頁) [共同]
- 28) 「仮現運動と眼球運動」(日本心理学会第69回大会発表論文集, 2005年9月, 482頁) [共同]
- 29) 「方向づけ課題と課題処理数が顕在記憶に及ぼす効果(2)」(日本心理学会第69回大会発表論文集, 2005年9月, 814頁) [共同]
- 30) 「眼球運動と仮現運動の関係—固視と追視の影響—」(日本基礎心理学会第24回大会発表要旨第24巻第2号, 2005年12月, 222頁) [共同]
- 31) 「インクジェット用写真用紙における白さの好ましさに関する研究(1)」(日本色彩学会第37回大会, 2006年5月) [共同]
- 32) 「インクジェット用写真用紙における白さの好ましさに関する研究(2)」(日本色彩学会第37回大会, 2006年5月) [共同]
- 33) 「インクジェット用写真用紙における白さの好ましさに関する研究(3)」(日本色彩学会第37回大会, 2006年5月) [共同]
- 34) 「フィードバックエラー関連電位に及ぼす文脈の影響」(日本基礎心理学会第25回大会発表, 2006年6月) [共同]
- 35) 「洞察問題解決過程における眼球活動」(日本認知心理学会第4回大会発表, 2006年8月) [共同]
- 36) “Psychopathic traits and autonomic responses to emotional stimuli” (The 46th Annual Meeting of the Society for Psychophysiological Research, 2006年10月, Vancouver) [共同]
- 37) 「サイコパシー特性と情動反応の関係」(日本心理学会第70回大会発表論文集, 2006年11月, 431頁) [共同]
- 38) 「仮現運動と眼球運動(2)」(日本心理学会第70回大会発表論文集, 2006年11月, 582頁) [共同]
- 39) 「刺激映像が視聴者の感情・認知・生理反応に与える効果」(日本心理学会第70回大会発表論文集, 2006年11月, 1056頁) [共同]

#### ④ その他 8編

- 1) 「色情報抽出の網膜回路」(『岡崎国立共同研究機構・生理学研究所年報』, 1989年3月,

- 244—245頁) [共著]
- 2) 「第三次産業就業者意識調査報告書」(『文部省科学研究費(一般研究C)研究成果報告書』1992年3月) [共著]
  - 3) 『宇宙医学・人間科学等の研究動向に関する調査報告書(人間一閉鎖環境系)』(三菱総合研究所(平成3年度宇宙開発事業団委託業務), 1992年3月, 17—19頁) [共著]
  - 4) 「三原色説」(『日本色彩学会誌』21号, 1997年5月, 51頁) [単著]
  - 5) 「色の記憶—色票の再認実験から—」(1998年度第4回信州大学心理学電子コロキウム, 1998年7月) [単独]
  - 6) 『カラー・ヴィジョン: 色の知覚と反対色説』(誠信書房, 平成2002年9月) [共訳]
  - 7) 1990年度文部省科学研究費一般研究C(研究代表者・椋山女学園大学人間関係学部教授・谷口茂) 研究課題「ME化の進展にともなう職場集団・労働形態・労働者意識についての総合的研究」 研究分担者となる
  - 8) 1995年度～1997年度文部省科学研究費総合研究A(研究代表者・中京大学文学部教授・森孝行) 研究課題「知覚的空間枠組の構造化と再構造化」 研究分担者となる

## ⑤ 学会活動

- 1968年3月 日本心理学会会員(現在に至る)
- 1987年10月 東海心理学会会員(現在に至る)
- 1989年4月 日本色彩学会会員(現在に至る)
- 1990年4月 日本視覚学会会員(現在に至る)
- 1990年4月 日本生理心理学会会員(現在に至る)
- 1992年9月 日本基礎心理学会会員(現在に至る)
- 1994年4月 日本色彩学会代議員(評議員)(2006年まで)
- 1998年4月 日本色彩学会理事(2000年まで)
- 2002年4月 日本色彩学会東海支部長(2004年まで)
- 2004年4月 日本色彩学会全国大会実行委員長(2004年まで)
- 1979年10月 ARVO (Association for Research in Vision and Ophthalmology) 会員  
(現在に至る)

## ⑥ 学内業績

- 1998年4月 信州大学人文学部教授として着任
- 1999年4月 人文学部将来計画委員(2000年3月まで)
- 2000年4月 人文学部カリキュラム委員(2001年9月まで)
- 信州大学機器分析センター委員(2003年3月まで)
- 2001年10月 人文学部学務委員(2002年9月まで)
- 2002年4月 信州大学医学部付属病院治験審査委員(2007年3月まで)
- 2003年4月 人文科学研究科小委員会委員(2004年3月まで)
- 信州大学ヒト環境科学研究支援センター運営委員会委員(2007年3月まで)
- 信州大学機器分析分野分析部門会議委員(2007年3月まで)

2004年4月 人文科学研究科大学院委員会委員（2005年3月まで）  
2007年3月 定年退職